

気候情報

2008年10月の日本の天候

- 全国的に気温が高かった
- 北日本と西日本日本海側で降水量が少なかった
- 東日本日本海側と沖縄・奄美で日照時間が多かった

10月の天気概況

月の初めと終わりを除き寒気の南下が弱く、全国的に高温となった。北日本、東・西日本日本海側と沖縄・奄美では高気圧に覆われることが多く、低気圧や前線の影響を受けにくかった。このため、北日本と西日本日本海側では降水量が少なく、山陰地方では10月の月降水量の最小値を更新した地点もあった。また、東日本日本海側と沖縄・奄美では日照時間が多かった。一方、本州の南岸や南海上を通過した低気圧や前線の影響を受けた西日本太平洋側では、日照時間が少なかった。下旬後半には冬型の気圧配置となり、寒気と気圧の谷の影響で北・東日本の日本海側では曇りや雨の日が続いた。

上旬：北日本では天気は短い周期で変化した。東・西日本では、期間の初めと終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多く、中頃は本州の南岸沿いを通過した低気圧や前線の影響で太平洋側を中心に曇りや雨の日が多かった。沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響で、奄美地方を中心に曇りや雨の日が多かった。

中旬：移動性高気圧に覆われて、北日本と東・西日本日本海側を中心に晴れの日が多かった。旬の初めには寒冷前線の通過で日本海側を中心に雨が降った。また、中ごろには本州の南岸を通過した低気圧や前線の影響で西日本太平洋側と沖縄・奄美を中心に雨が降った。

下旬：前半は北～西日本では天気は周期的に変わった。一方、後半は北日本中心の冬型の気圧配置となり、寒気と気圧の谷の影響で北・東日本日本海側では曇りや雨の日が続いた。沖縄・奄美では、期間をと

して高気圧に覆われて晴れの日が多かった。23～24日にかけては日本海と本州の南岸を進んだ低気圧や前線の影響で、北～西日本で雨が降り、大雨となったところもあった。

10月の気候統計

月平均気温：全国的に高かった。

月降水量：北日本と西日本日本海側で少なく、平年の40%未満となったところがあった。東日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：東日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。一方、西日本太平洋側では少なく、北日本、東日本太平洋側、西日本日本海側では平年並だった。

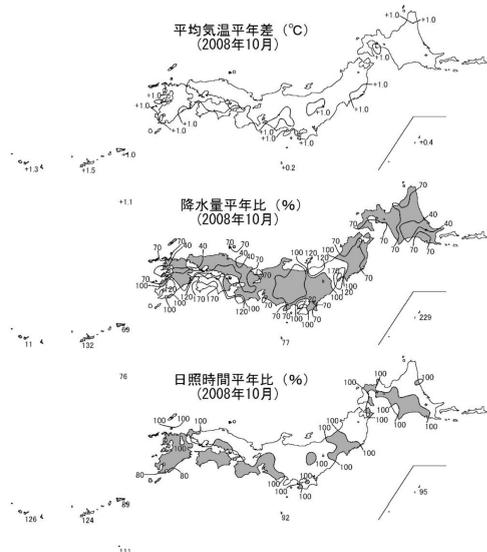
(気象庁観測部統計室)

10月の記録 (1位更新のみ)

・月降水量少ない方から (mm)

鳥取 43.5 松江 48.0

2008年10月の平年差 (比) 図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。